

資料5

地産エネルギー・グリーンツーリズムWG 協議会報告資料

第6回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部庁舎大会議室

平成24年6月4日(月)

1. 本年度事業実施内容

- ・ 地産エネルギー、グリーンツーリズムともに、昨年度協議会でご報告の通り実施する。

地産エネルギー

- 2012年度の事業を、木質バイオマスエネルギーの活用に注力し、以下の調査事業を行う。
- 木質ペレット工場の新規建設を想定した、ペレット製造事業の事業性評価、ペレット普及促進の可能性調査、ペレットの流通システムの検討を行う。

グリーンツーリズム

- 「食農観ビジネス等推進重点支援地域形成事業」(秋田県)に応募し、基本計画が採択されたことから、今後3年間を通じて、以下の事項を念頭に取り組みを行う。
 - ① これまで土崎地区で取り組んで来た「ふぐによる町おこし」を核に、ふぐ以外の地域の資源も発掘し磨く。
 - ② 地域の資源や人をつなぐことで地域全体としての魅力を再発見し、地域の物語を作る。
 - ③ 情報を発信することで、地域(秋田)にヒトを引き寄せ、ファンを作り、リピーターを増やす。

2. ワーキンググループの組成

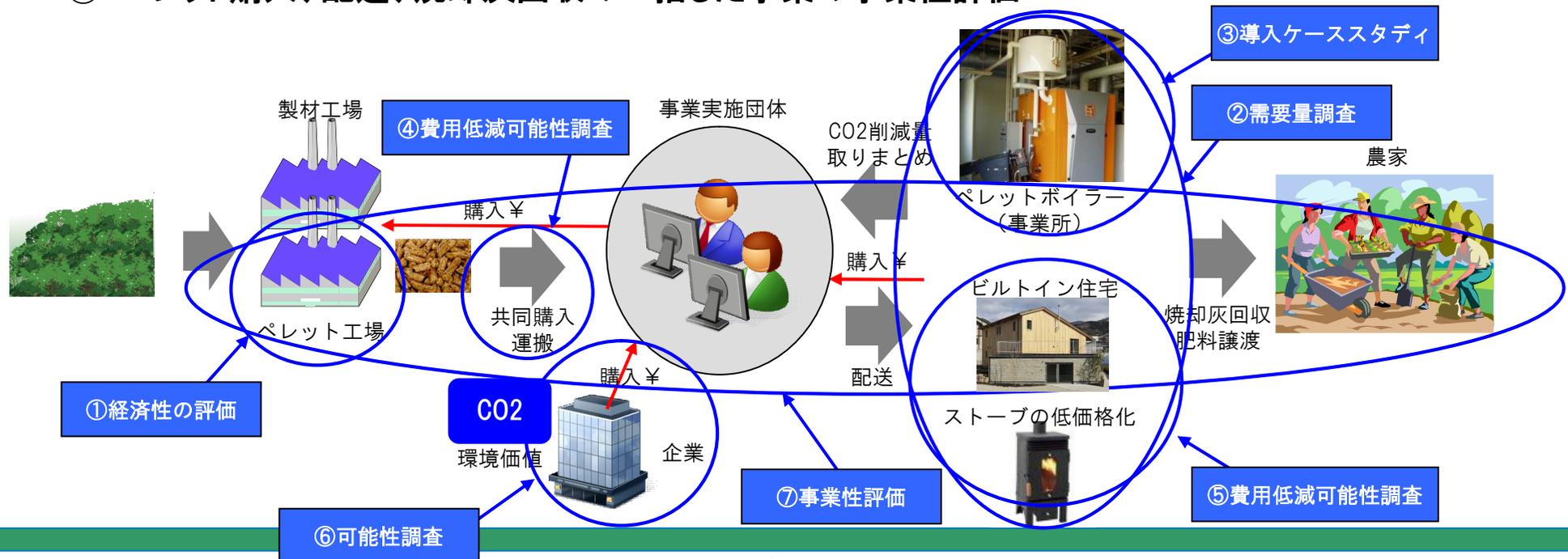
- ・ グリーンツーリズム事業が、「食農観ビジネス等推進重点支援地域形成事業」(秋田県)に採択されたことにより、当事業のアドバイザーである株式会社太陽美人をメンバーとして加えたい。
- ・ 地産エネルギー導入に関する本年度事業において、ペレットストーブビルトイン住宅の可能性検討を行うため、住宅建築の専門家である秋田県立大学板垣委員をワーキンググループメンバーとして参加していただくこととしたい。
- ・ 同じく地産エネルギー本年度事業における、木質ペレット工場の事業採算性検討、木質ボイラー導入シミュレーションを担当する事業者(木質バイオマス専門コンサルタントを予定)もワーキンググループメンバーに加えたいが、正式契約後としたい。

ワーキンググループ名	構成メンバー	WG長
地産エネルギー・グリーンツーリズムワーキング	日本総合研究所、日本IBM、太陽美人、秋田大学西川准教授、秋田県立大学板垣准教授、木質バイオマスコンサルタント(予定)	秋田大学 西川委員

3. 本年度事業実施内容（地産エネルギー）

調査項目

- ① 木質ペレット燃料製造事業に関する経済性の検討
- ② 木材ペレット燃料需要調査
- ③ 木質ペレットボイラー導入ケーススタディー
- ④ 木質ペレットの販売コスト低減の可能性調査(共同購入、事業規模拡大 等)
- ⑤ ペレットストーブ設置にかかる初期費用低減可能性調査(リース、ビルトイン住宅整備 等)
- ⑥ 環境価値の売却可能性調査
- ⑦ ペレット購入、配送、焼却灰回収の一括した事業の事業性評価

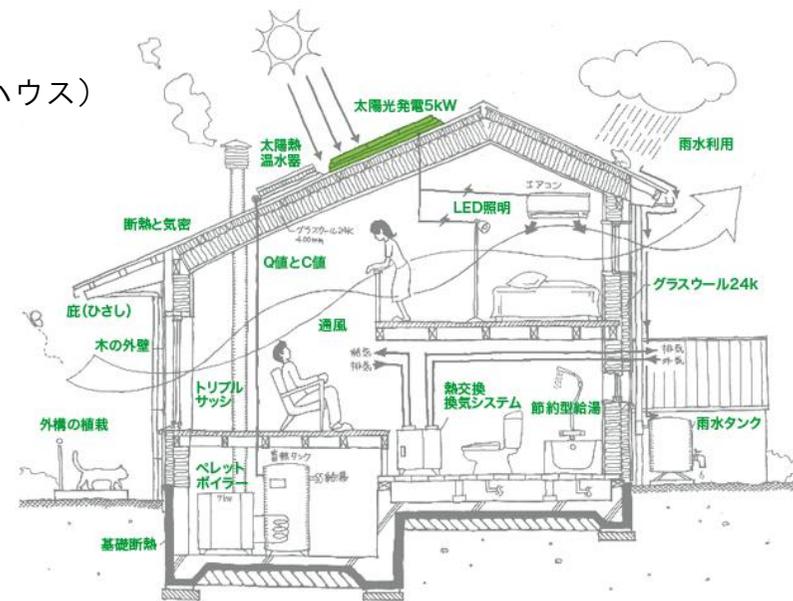


4. 調査に関する検討課題(1)(地産エネルギー)

検討課題

- 初期費用低減策の一案であるビルトイン住宅については、県産材を使用した環境配慮型の住宅普及の可能性について検討する。
 - ・ 「山形エコハウス」の秋田版のイメージ
 - ・ ただし、今年度は詳細な設計まではできないため提言を行うまでにとどめる
 - ・ 基本的な考えとして、高气密型住宅とするのか、通気性がありつつ冬期の暖房対策を検討するか、ということについては検討課題
 - ・ **地域の工務店**等と連携をして調査を進める

木造エコ住宅の例（山形エコハウス）



出所：東北芸術工科大学「山形エコハウス」HP
<http://www.tuad.ac.jp/ecohouse/index.html>
<http://www.tuad.ac.jp/adm/architecture/ymgtecohouse/>

5. 調査に関する検討課題(2)(地産エネルギー)

検討課題

- ペレットの材料となる木材(端材、林地残材)の継続的な供給システムを構築する必要がある。
 - ・ 未利用間伐材を活用した木製品の開発
 - ・ 製材利用の木材輸送と合わせた端材(枝葉、小径木)の輸送
 - ・ 木質バイオマス発電の買取価格が高水準であったことから、端材、木質チップの需要増加が考えられ、ペレット材料の確保が課題となる
 - ・ **未利用間伐材の有効利用、木材輸送システム等**は来年度以降の検討課題としたい。

バイオマスの固定買取価格



バイオマス	メタン発酵 ガス化発電	未利用木材 燃焼発電 (※1)	一般木材等 燃焼発電 (※2)	廃棄物 (木質以外) 燃焼発電 (※3)	リサイクル 木材燃焼発 電 (※4)
調達価格	39円(+税)	32円(+税)	24円(+税)	17円(+税)	13円(+税)
調達期間	20年間	20年間	20年間	20年間	20年間

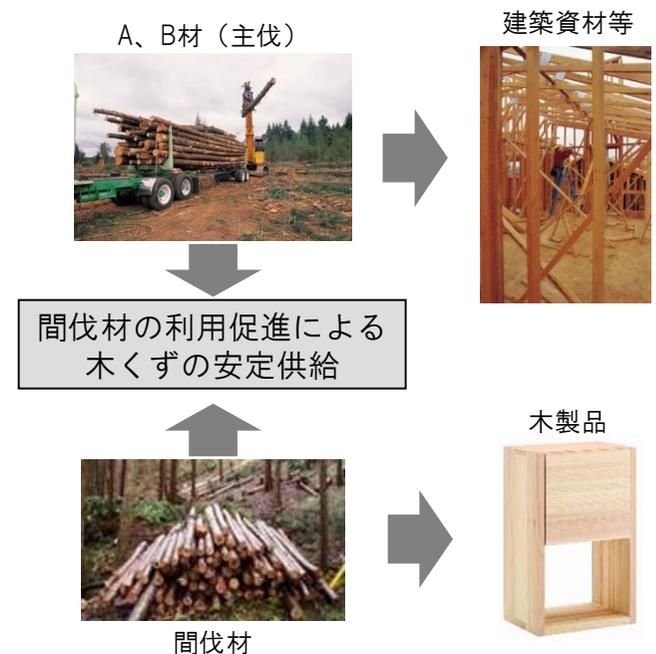
(※1)間伐材や生伐材であつて、後述する設備認定において未利用であることが確認できたものに由来するバイオマスを燃焼させる発電

(※2)未利用木材及びリサイクル木材以外の木材(製材端材や輸入木材)並びにパーム椰子殻、稲わら・もみ殻に由来するバイオマスを燃焼させる発電

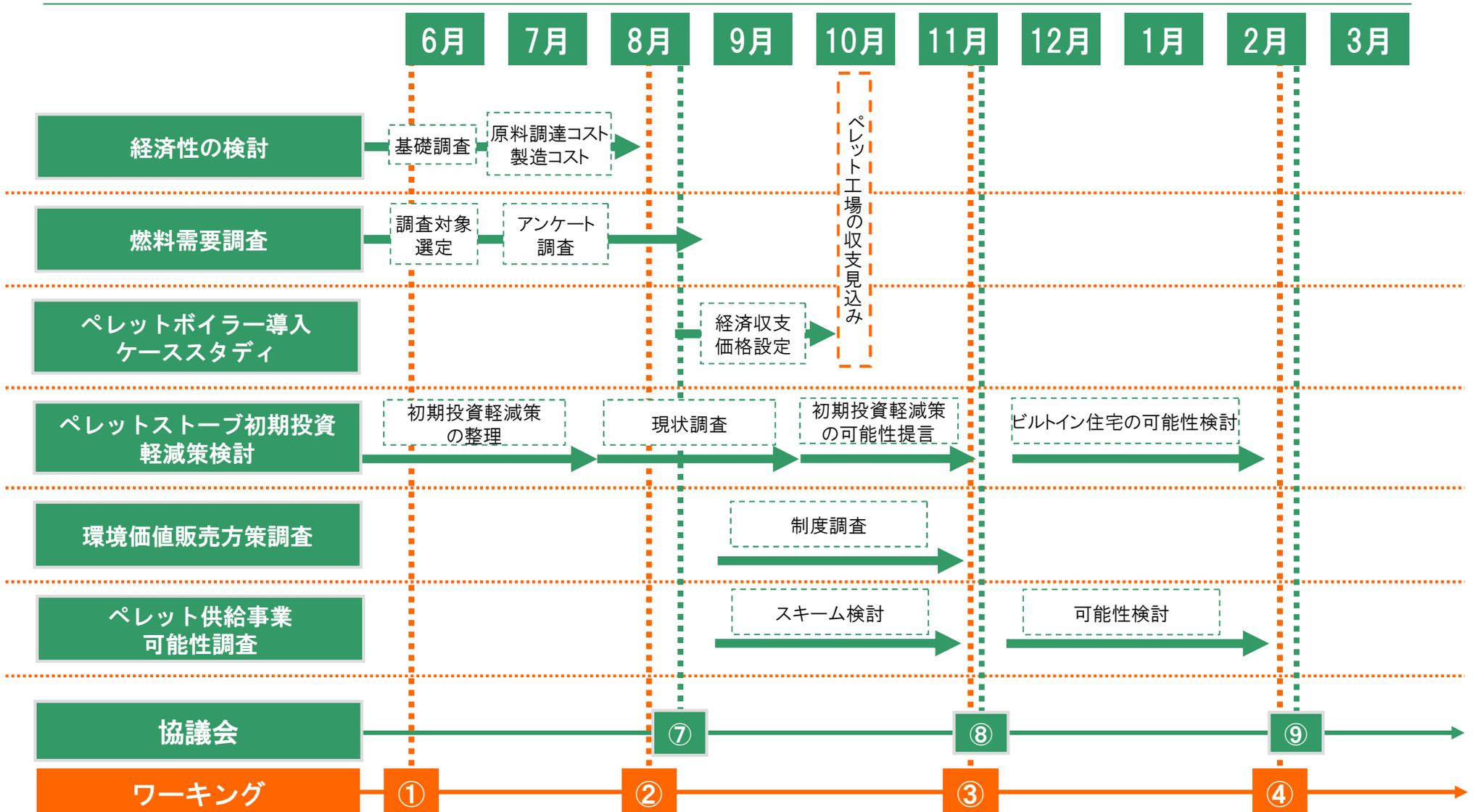
(※3)一般廃棄物、下水汚泥、食品廃棄物、RDF、RPF、黒液等の廃棄物由来のバイオマスを燃焼させる発電

(※4)建設廃材に由来するバイオマスを燃焼させる発電

出所：資源エネルギー庁「なっとく！再生可能エネルギー」より
<http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/kaitori/kakaku.html>



6. 調査スケジュール(地産エネルギー)



7. 本年度事業実施内容（グリーンツーリズム）

実施主体

「みなと土崎 ふぐのまち活性化協議会」

- ① 代 表 株式会社那波商店(代表取締役 那波尚志)
- ② 関 連 団 体 ふぐの町推進協議会、ふぐ産直部会、土崎飲食業組合連合会、
日本エアーサービス株式会社
- ③ アドバイザー 株式会社太陽美人(代表取締役 渡邊麻美子)

実施内容

- ・ ふぐを生かした水産加工品の提供
東北地方と首都圏を中心に、物産展・展示商談会への出展やフェアの開催を実施。
またWebをベースにした情報提供の仕組みを構築し、秋田=北限ふぐの認知度の向上を図り
需要喚起、販路拡大を目指す。(フードマイレージ)
- ・ 着地型観光の構築
地域観光資源の情報を収集・整理し、地域の食、祭り、観光拠点等、土崎周辺地域ならではのコンテンツを開発。
自転車やウォーキング等の環境に優しく、スローな手段でつないだツアーを提供し、誘客、
滞在時間の延長を図るとともに、徐々にツアー数を増強し、リピーター数の増加を目指す。
(まちなかエコツアー)

8. 補助事業規模およびスケジュール（グリーンツーリズム）

補助事業規模

- 「食農観ビジネス等推進重点支援地域形成事業」(秋田県)
 - ・期 間 平成24年度～平成26年度
 - ・規 模 定額補助(500万円/年×3年)



スケジュール

取組事項		平成24年度事業内容	平成25年度事業内容	平成26年度事業内容
(1)	ふぐを生かした水産加工品の提供	新たなふぐ加工品の開発	販路開拓に向けた展示商談会出展	販路拡大に向けた展示商談会出展
		消費者の認知度向上のための物産展出展、フェア開催	消費者の認知度向上のための物産展出展	消費者の認知度向上のための物産展出展
		消費者に向けた情報提供の仕組みづくり(委託)	消費者に向けた食と観光のPR(広告)	
(2)	着地型観光の構築	ふくまつりの拡充	ふくまつりの拡充	ふくまつりの拡充
		観光資源掘り起こし調査(地域資源に関する情報の収集・整理)(委託)	着地型観光ツアーのパイロット実施	着地型観光ツアーの改良とツアーメニューの増強
		SNSを用いたコミュニティ参加型のツアープラン作成	着地型観光ツアーの構築、販売	個人旅行向けのルート検討、ガイド作成
		着地型観光ツアーのパイロットイベントの開催		ツアー参加者への定期的な情報提供の仕組み作り